

ヘルスケアにおける トラスト・ギャップに 関する報告書

(原文 - 英語)

「A Million Conversations」イニシアチブから得られる包括的な医療に関する洞察



sanofi

a *million*
conversations

序文

ヘルスケアにおけるトラスト・ギャップに関する報告書へようこそ。この報告書では、私たちの世界的な取り組み「A Million Conversations」の最初の2年間のインサイトと、よりインクルーシブなヘルスケアシステムを構築するためにどのように協力できるかを共有します。

2022年、私たちは、女性、障がい者、LGBTQ+、少数民族の人々など、歴史的に支援が十分に受けられなかったコミュニティの人々のヘルスケアに対する認識を理解するための第一歩を踏み出しました。

私たちは5カ国（ブラジル、日本、フランス、米国、英国）の人々を対象に、大規模な世論調査を実施しました。その結果は、歴史的に十分な支援を受けられなかったグループの人々は、医療に関する否定的な経験を報告する可能性が著しく高く、それが医療への信頼度の低さにつながっているという、痛烈なものでした。その後、私たちは新たな国（オーストラリア、カナダ、ドイツ、メキシコ、スペイン）にも調査を拡大しました。残念ながら、私たちが目にしたのは、どこに行っても不平等が存在するということです。しかし、希望の光も確かに存在します。

私たちは、性別、民族、障がいの有無、性的指向に関係なく、誰もが必要な医療を受けられる世界を築くことを決意しています。

私たちは、2023年1月にダボスで開催された世界経済フォーラムで、世界的なイニシアチブ「A Million Conversations」を開始しました。これは人々の会話を引き出すことを目的としていました。あまりにも聞いてもらえないと感じている人々に声を与えるため、アイデアを伝えるため、そして何よりも状況を改善するアクションをともに築くために。それ以来、私たちは調査結果に耳を傾け、学び、共有してきました。この報告書では、私たちの調査と貴重な会話から得た洞察を共有します。

私たちは、性別、障がいの有無、性的指向、民族に関係なく、誰もが必要な医療を受けられる世界を構築することを

決意しています。私たちは、企業、政府、政策立案者とともに、それが単に実現可能であるだけでなく、まったくもって達成可能だと信じています。これは信頼を再構築し医療格差をなくすという私たちの使命に参加するための招待状であると考えてください。



Raj Verma, Chief Culture, Diversity and Employee Experience Officer、サノフィ



「私たちは急進的な協働の時代に生きています。私たちが直面している問題は非常に膨大であるため、協力する必要があります。複数の利害関係者、複数のコミュニティ、複数の組織。この取り組みは非常に強力なものです。なぜなら私たち全員の中にある非常に大切なもの、つまり、自分の命を信頼して人にゆだねることができるか、という問題だからです。私たちの声は聞こえていますか？ただ聞いているだけではなく、本当に聴いていますか？」

キャロライン・ケーシー、Valuable 500 創設者、サノフィ DEI委員会役員

この報告書には何が 記載されていますか？

エグゼクティブサマリー	5
医療における信頼を築く必要がある理由	7
トラスト・ギャップ	8
グローバル世論調査からの洞察	9
<i>A Million Conversations</i>	15
医療における多様性の向上	18
サノフィ次世代奨学金	19
インクルーシブな対話	21
システムの変化に影響を与える	23
ケーススタディ	25
トラスト・ギャップを埋めるために私たちはどのように協力できるか	29
私たちの取り組みに参加してください	31
謝辞	34



アンナ・ラマーリオ、
ブラジル

エグゼクティブ サマリー

私たちの「A Million Conversations」調査は現在、10カ国35,000人以上を対象としており、歴史的に支援が不足していたコミュニティのヘルスケアへの信頼に関する最大規模の国際調査となっています。

回答者全体において、特定のグループの間で信頼が非常に損なわれ、医療提供者に対する信頼が失われていることが明らかになりました。

歴史的に支援が十分に受けられなかったコミュニティの人々は、他の人々に比べて多くの医療現場で公平に扱われることに自信を持ちにくい傾向があります。そして、複数

のマイノリティに属している人々の間では状況はさらに厄介です。何度も否定的な経験することで、医療提供者とどのように交流するか、またどのような治療を求めるかに影響が生じます。ヘルスケアに対する不信感により、本当に治療が必要なときに治療を受けられなくなる可能性や手遅れになるまで決断を先延ばしにすることもあります。

ギャップを埋める

では、このトラスト・ギャップを埋めるにはどうすれば良いのでしょうか？医療従事者は、すべての人にとって適切かつ支えとなる質の高いケアを最優先事項として提供しなければなりません。患者を公平に扱い、信頼できる存在であること、そして透明性を高めることが鍵となります。これらに加え、本報告書では、よりインクルーシブなヘルスケアの構築に役立つ6つの項目を提唱しています。

- 1 医療提供者は、支援が不足しているコミュニティ間で理解、多様性、信頼を築くために、支援、教育、研修を必要としています。
- 2 国民健康調査と健康アウトカムに関するデータは、人口の多様性を反映していなければなりません。
- 3 多様な患者の視点に基づいた公平な政策決定は、十分な資金に裏付けられ、国家レベルで長期にわたって制定されなければなりません。
- 4 医療提供者に個々の患者のニーズと障壁を理解するための時間とリソースを提供することで、包括的で患者中心のケアをサポートします。
- 5 ヘルスリテラシーとコミュニケーションのしやすさを向上し、患者が十分な情報に基づいて選択し、懸念事項を医療専門家と率直に話し合えるようにしなければなりません。
- 6 経歴に関わらず、誰もがヘルスケア分野でキャリアをスタートしやすくする必要があります。

短期から中期的には大きなインパクトを達成できるものの、長期的な変革にはシステム全体の変革へのコミットメントが不可欠です。私たちは、この実現に向けて、協力者や医療分野の意思決定者の皆様のご協力をお願いしています。

ヘルスケアに対する信頼を築く必要がある理由

本質的に、ヘルスケアに対する認識は個人的なものであり、個人の信念、個人の経験、友人や家族などの他者の影響など、さまざまな要因によって形成されます。

信頼は、人々と医療従事者との関係の基盤であることは周知の事実です。医師のアドバイスを受け入れるには、医師の言うことを信じる必要があります。処方された薬や予防接種を受けることに同意するには、それらを処方または投与する人への信頼が必要です。一般的に、医療への信頼は、政府や公共部門における説明責任や誠実さに関する全体的な見方、そして国レベルでの政策決定によって、高まったり低下したりすることもあります。

サノフィの支援を受けて2024年6月に発表されたヘルス・ポリシー・パートナーシップの報告書「信頼の獲得：公平なヘルスケアのための基盤」は、信頼とヘルスケアの公平性の関連性を深く掘り下げています。この報告書は、支援が不足しているコミュニティと医療システムの間に信頼を構築するために実施すべき政策原則を深く掘り下げています。以下にハイライトをご紹介しますが、ぜひ全文をお読みください。

医療現場における不平等の例を浮き彫りにした研究論文は数多くあります。

- 1 英国では黒人女性は白人女性に比べて英国全土の病院での出産時に最も重篤な出産合併症を経験する可能性が最大 6 倍高くなっています。¹
- 2 ブラジルでは、2019年に公立病院における黒人の平均死亡率は全国平均の2倍以上でした。²
- 3 米国では、2022年に障がいのある人が複数の慢性疾患を抱えて生活する可能性は、障がいのない人に比べてほぼ 10 倍高くなりました。³
- 4 スペインでは、2008年から2019年にかけて行われた調査で、胸痛のある女性は男性よりも誤診される頻度が高く、医療の助けを求めるまでに12時間以上待つ傾向も高いことがわかりました。⁴

このような統計は憂うべき状況であり、行動を起こすための大きな動機です。私たちは変化を起こそうと決意し、他の人々にも参加を呼びかけています。

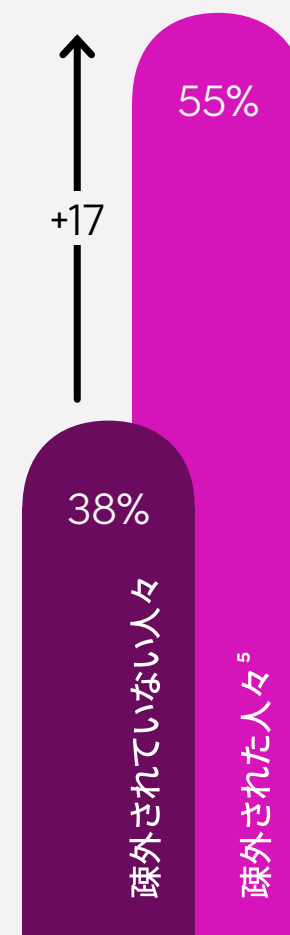
医療提供者へのアクセス、包括的な情報の欠如、十分な支援を受けていないコミュニティの人々を差別したり不利に扱う慣行など、医療の現場ではしばしば障壁が生じ、不平等は解消されるどころか、むしろ悪化してしまうことがあります。

ヘルスケアの公平性を向上させなければ、健康状態の格差が拡大するリスクがあります。しかし、従来十分な支援を受けられなかったコミュニティの人々の間で信頼を再構築することで、予防医療、早期介入、そしてより良い結果への参加の可能性を高めることができます。

これが、私たちがよりインクルーシブなヘルスケアを構築する必要がある理由です。そのためには、政策立案者、企業、そして医療提供者の関与と説明責任を伴う、体系的な変革が不可欠です。

トラスト・ギャップ

医療提供者に対する信頼を損なうような経験をしたことがありますか？



「はい」と回答した割合

信頼はあらゆる人間関係の基盤です。それは長い時間をかけて、多くの場合、数え切れないほどの小さな、しかし着実な行動の結果として築かれます。しかし、信頼はあっという間に損なわれたり、失われたりすることもあります。

支援が十分に受けられなかったコミュニティとの対話から、深刻な課題が浮かび上がってきました。ヘルスケアへの信頼は、彼らが直面した経験、特に最も弱い立場にあると感じていた時期に直面した経験によって損なわれています。差別、批判されていると感じること、あるいは単に耳を傾けてもらえないことなどにより、これらのコミュニティでは他のコミュニティよりも高い不信感が生じています。私たちはこの格差を「トラスト・ギャップ」と呼んでいます。

トラスト・ギャップを埋めることは極めて重要です。医療提供者への信頼がなければ、患者の健康状態が悪化するリスクが高まり、それが将来の世代に影響を及ぼす可能性があります。

では、ヘルスケアシステムはどのようにしてこの極めて重要な信頼を取り戻せるのでしょうか？私たちは、それは対話から始まると考えています。

私たちは、10カ国3万5000人以上を対象に、医療における経験を理解するためのアンケート調査を実施しました。サンプル数は歴史的に十分な支援を受けられなかったコミュニティの経験を自信を持って調査できる規模となっています。また、多くのコミュニティとの意見交換意見交換を実施しました。対話イベントを開催し、人々が医療専門家と直接経験を率直に共有し、解決策を探ることができるようにします。

こうした会話では不平等に関する話が頻繁に明らかになりましたが、参加者が変化の機会を積極的に模索する意欲に私たちは勇気づけられました。

トラスト・ギャップを埋めるための私たちの取り組みと、変革に向けたビジョンについて、詳しくは以下をお読みください。

¹ Thomas, T., 2024. 分析によると、英国の黒人女性は出産時により深刻な合併症に苦しんでいる。健康と不平等に関する特派員。
² バルボサ IR、アイクォック KM、ソウザ TAd. 2021. Raça e saúde. Múltiplos olhares sobre a saúde da População negra no Brasil [人種と健康。ブラジルの黒人人口の健康状態を複数の視点から見る]。ナタール: UFRN 編集者
³ ユナイテッド・ヘルス財団および米国公衆衛生協会。2023年。アメリカの健康ランキング®2023年年度報告書。ミネソタ州: ユナイテッド・ヘルス財団
⁴ 「Martinez-Nadal, G., et al. (2021). 過去12年間の救急外来胸痛外来における性別に基づく分析。European Heart Journal: Acute Cardiovascular Care」
⁵ この図は、2024年に5カ国（ブラジル、フランス、日本、英国、米国）で実施された国別代表調査を示しています。図は、疎外されたグループ（女性、少数民族、障がい者、LGBTQ+）と、疎外されていないグループ（これらのグループに該当しない個人）を比較しています。疎外されたグループのサンプル数は8,598人、疎外されていないグループのサンプル数は2,891人です。



世界的な世論調査 からの洞察

「A Million Conversations」イニシアチブは2022年に医療体験に関するデータの収集を開始し、ブラジル、フランス、日本、英国、米国の11,500人以上を対象に調査を実施しました。2023年には調査範囲を拡大し、オーストラリア、カナダ、ドイツ、メキシコ、スペインの12,600人が参加しました。

状況が変化したかどうかを把握するため、当初の5カ国を再調査しました。ブラジル、フランス、日本、英国、米国の各グループが報告した経験には若干の変化が見られましたが、トラスト・ギャップは依然として2022年と同程度に大きく、場合によっては拡大しています。

10カ国3万5000人以上を対象としたこの調査は、この種の調査としては最大規模であり、十分な支援を受けていないコミュニティのヘルスケアに対する認識について独自の視

点を提供しています。それは、十分な支援を受けていないコミュニティの人々が、他の人々よりも多く経験している、医療提供者との不適切なやり取りによって、信頼がどのように失われているかを示す明らかな指標です。

この報告書は、最新の2024年の世論調査⁶に広く焦点を当てており、以前の報告書はオンラインでご覧いただけます。

⁶ この報告書に含まれるすべてのデータとグラフは2024 年に 5カ国で実施された各国を代表する調査を参照しています。5カ国の年齢、性別、地域に関する全国調査。2024年にインタビューされた成人11,489人の内訳は、英国 (n=2,310)、米国 (n=2,175)、日本 (n=2,533)、フランス (n=2,217)、ブラジル (n=2,254)。この研究の主な焦点は、マジョリティとマイノリティ(女性 (n=5,520)、65 歳以上 (n=2,427)、少数民族グループ (n=2,602)、障がい者 (n=2,712)、LGBTQ+ コミュニティ (n=1,830)) の間での医療に対する信頼の認識を理解することでした。

歴史的に十分な支援を受けられなかったコミュニティは、医療提供者への信頼を失っています。

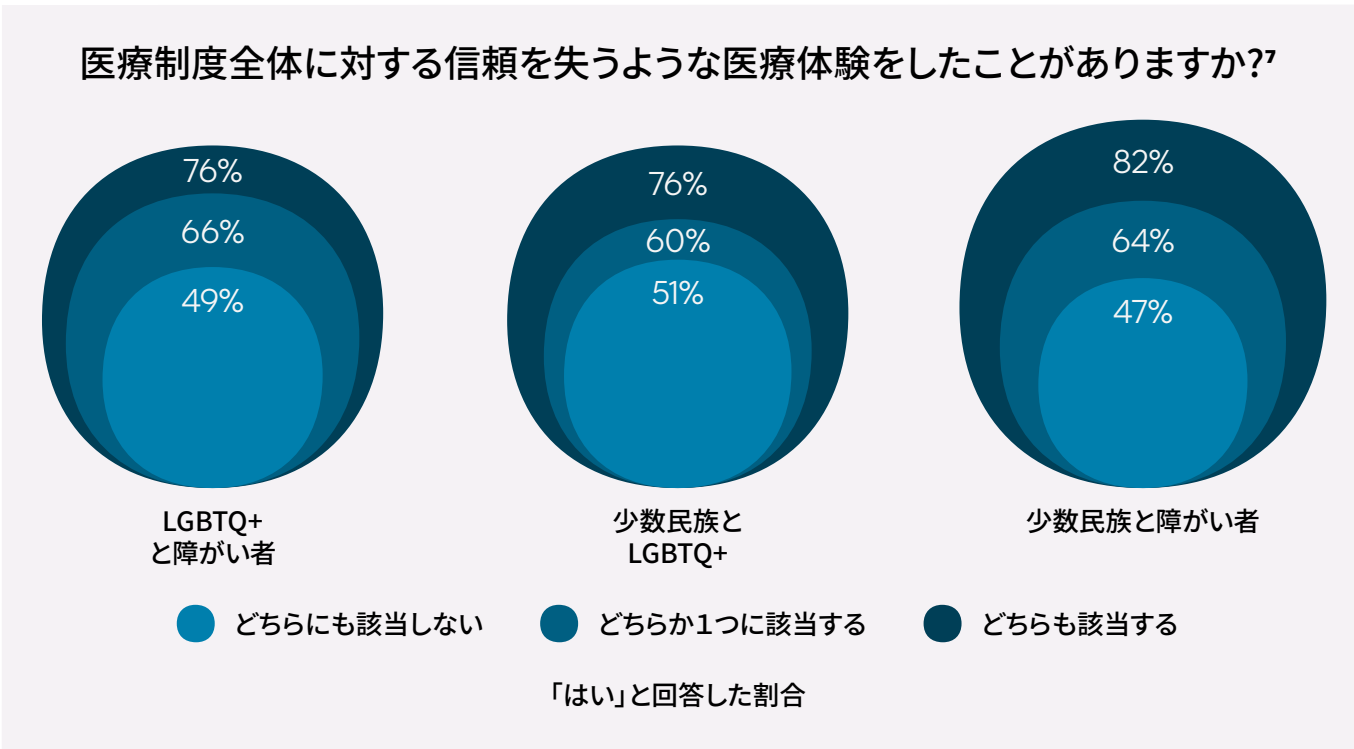
これらのコミュニティの人々の大多数は、信頼を損なうような否定的な経験をしたと述べています。



交差性(インターセクショナルリティ)により信頼が損なわれる可能性が高まる

上記の数字は厳しいものですが、インターセクショナルな背景を持つ人々、つまり、歴史的に支援が不足していた複数のコミュニティに属する人々にとっては、さらに厄介です。

例えば、少数民族であり障がいを持つ人のうち、信頼を損なうような医療経験をしたことがある人は82%であるのに対し、どちらの背景も持たない人では47%にとどまっています。これは驚くべき35ポイントもの差です。他のインターセクショナル・アイデンティティにおいても、トラスト・ギャップは同様に大きくなっています。



これらの統計の背後には、しばしば悲惨な状況に直面している人々のリアルな物語があります。アンジェラは彼女の話私たちと共有してくれました。



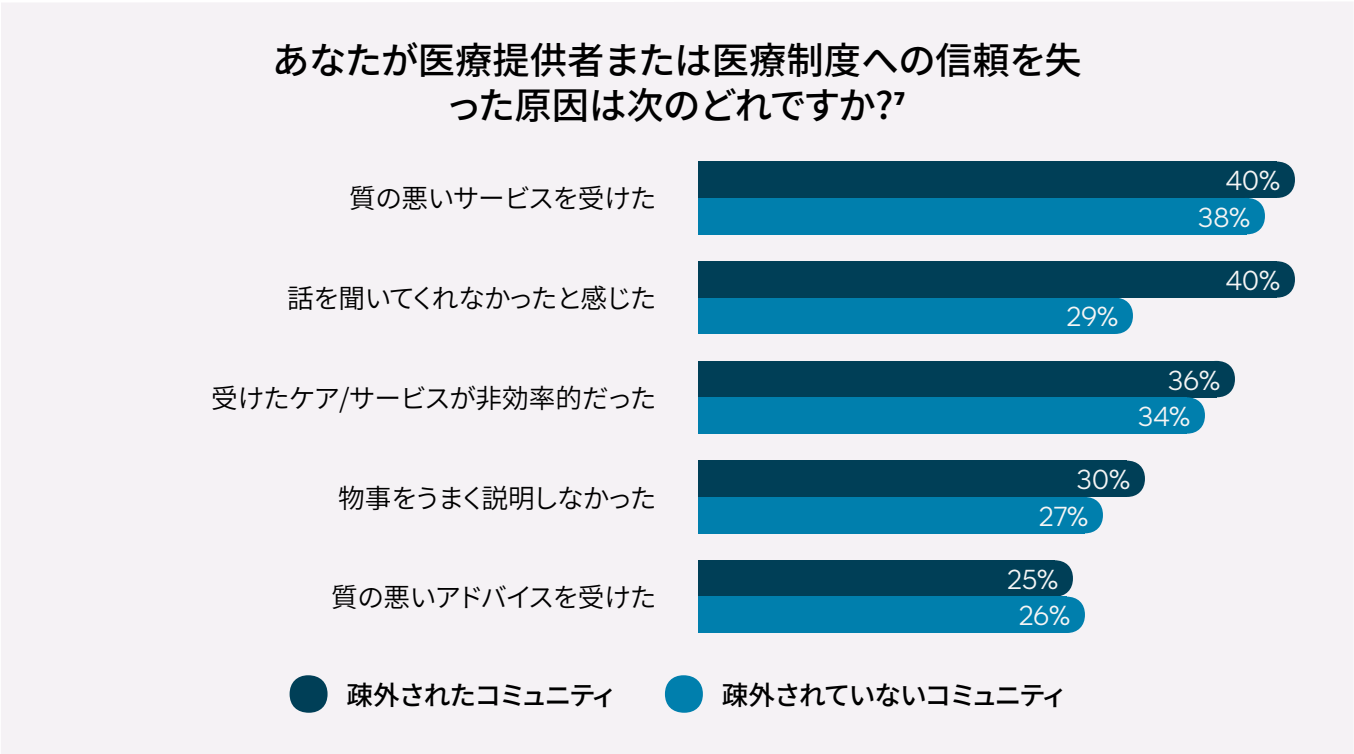
「医師が入ってきて、私は妊娠3ヵ月だと説明しました。つわりがひどいのです。そして今、胃腸炎にかかっていると思う、出血している、と伝えました。医師が最初に私に尋ねたのは、『本当にお酒を飲んでいないのですか？』ということでした。私は妊娠していると伝えただけなのに、なぜお酒を飲むことがあるのでしょうか？彼は非常に怒って私に横になるように言いました。

彼は私の腹部の周りを触りました。それから彼は、私が実際に真実を語っていることに気づきました。彼は必要な点滴を指示し部屋を出ていきました。彼は私がネイティブアメリカンであることを認識していたと思います。そしてそれに基づいて判断したのだと思います。私はただ医者に私を診察してほしいただけです。確かに先住民族は世代間のトラウマや格差、貧困のために薬物乱用に苦しんできましたが、私たち全員がそうだという意味ではありません。10年も前のことなのに今でも鮮明にその感情が甦ります。実際、必要がない限り医者に行くことは避けています。」

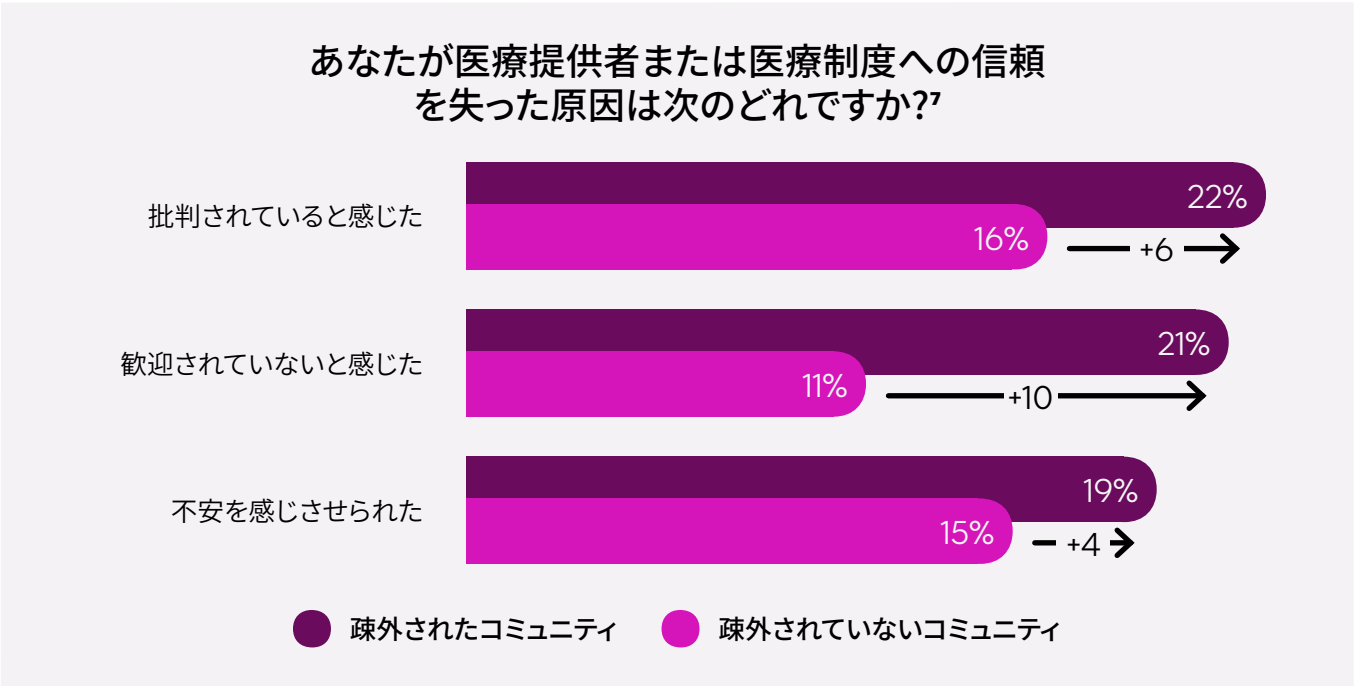
アンジェラ、米国

信頼を失う理由

信頼を失う理由は様々です。非効率的なサービスや質の悪いケアが、信頼を失う大きな理由として挙げられています。しかし、疎外されたコミュニティの人々は、自分の話に耳を傾けてもらえていないと感じる割合が11ポイント高くなっています(40%対29%)。



私たちの世論調査では、歴史的に支援が十分に受けられなかったコミュニティの人々では、歓迎されていない、批判されている、または安全でないと感じていると答える割合も大幅に高い結果でした。

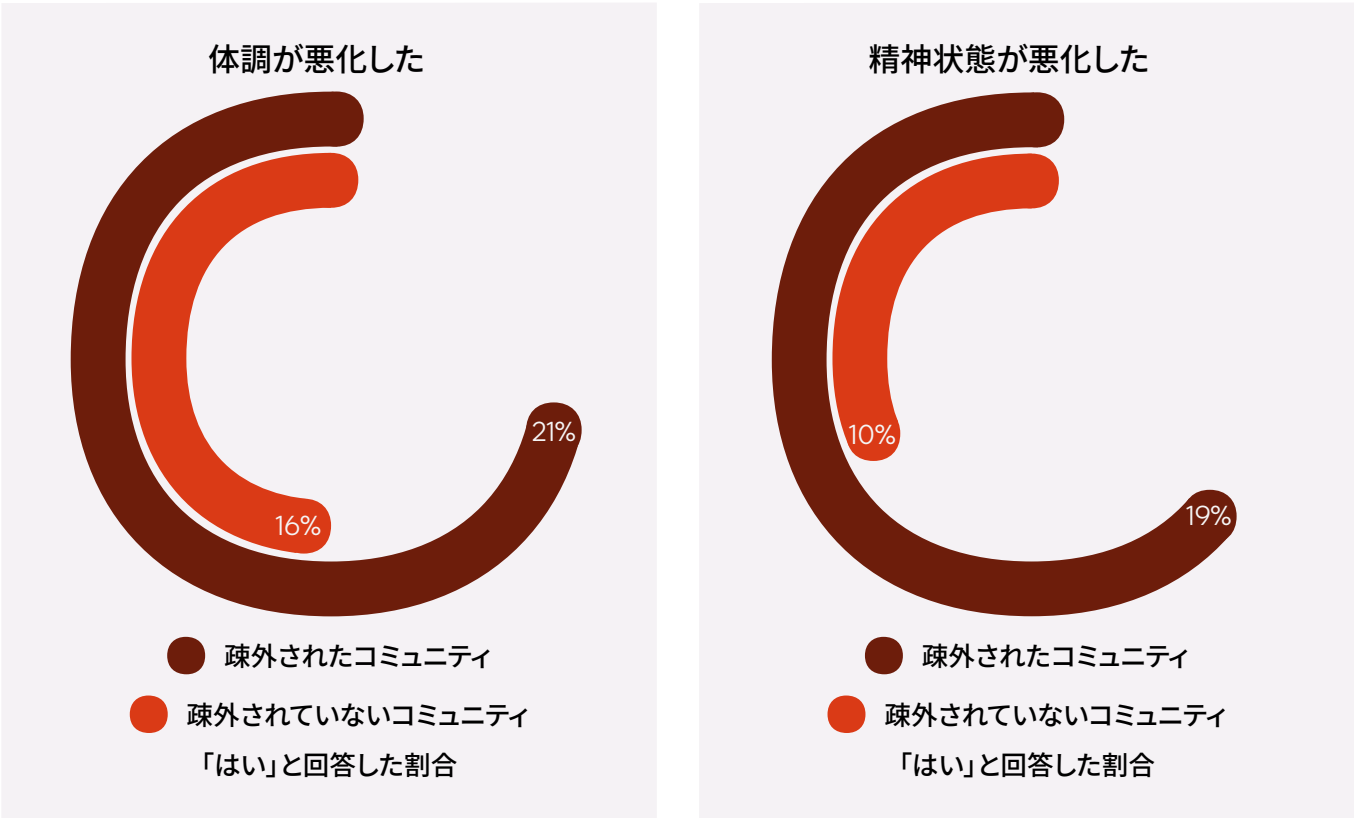


* グラフは、疎外されたコミュニティ (n=5,675) と疎外されていないコミュニティ (n=1,435) を比較したものです。疎外されたコミュニティとは、女性、少数民族、LGBTQ+、障がい者を指します。疎外されていないコミュニティとは、これらのコミュニティに該当しない個人を指します。

信頼の喪失は悪い結果につながる

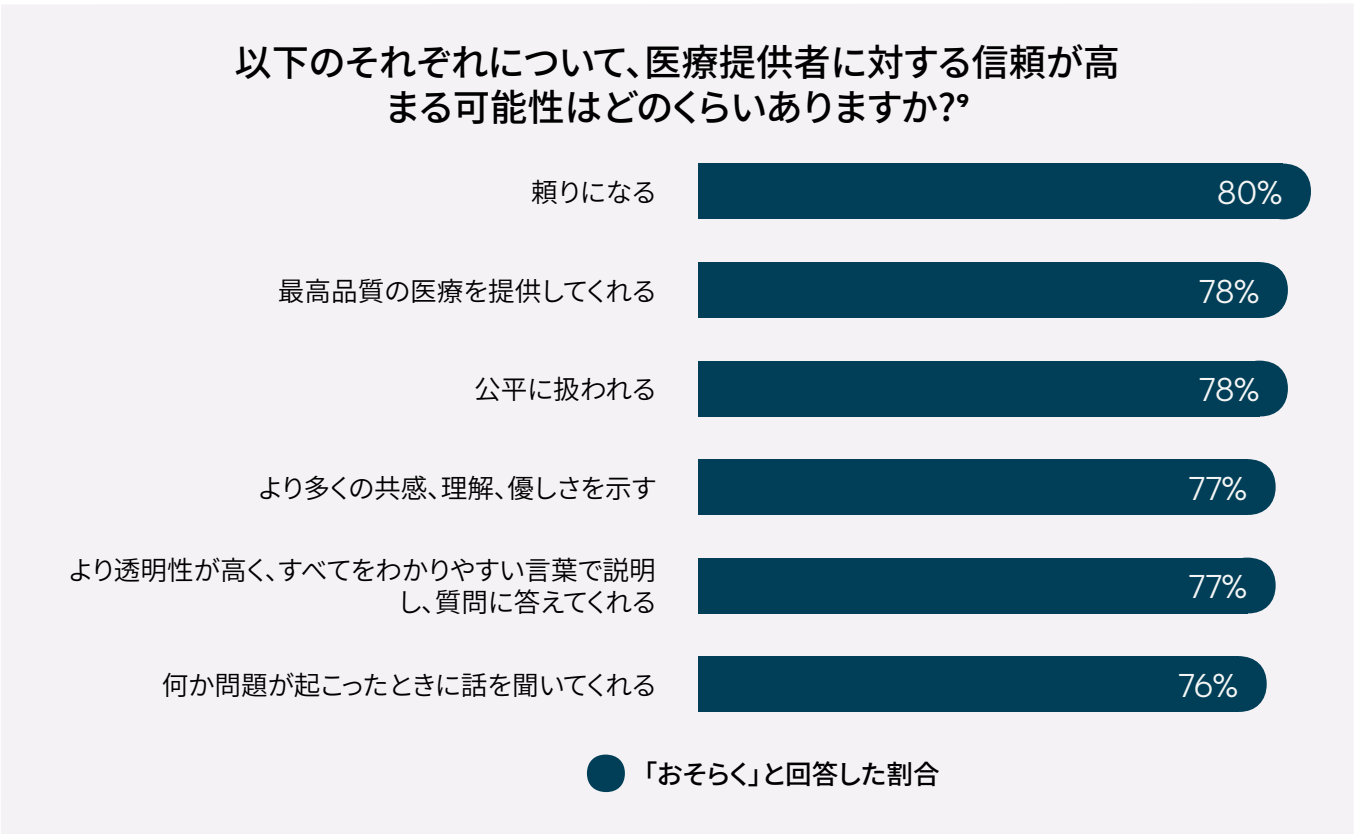
こうした経験は信頼を損なうだけでなく、健康状態の悪化にもつながります。歴史的に十分な支援を受けられなかったコミュニティの人々の3分の1以上が、現在の医療機関への通院をやめ、新しい医療機関を探した(39%)か、全く医療機関に通わなくなった(15%)と回答しています。

最も懸念されるのは、これらのコミュニティの人々は、医療への信頼を失った結果、身体的健康(21%対16%)または精神的健康(19%対10%)が悪化したと答える傾向が他のコミュニティの人々よりも高かったことです。⁸



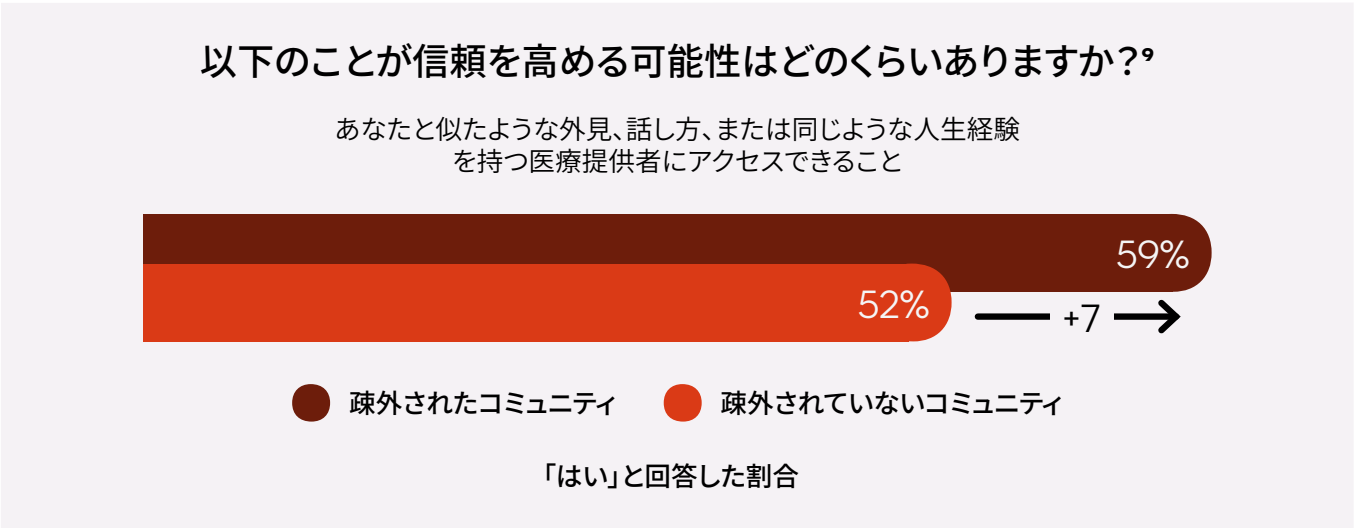
信頼を再構築する方法

信頼の喪失が、社会で最も支援を受けていない人々の健康に重大な影響を与えていることは明らかです。しかし、信頼をどのように再構築できるかについても示唆が得られています。「信頼でき、頼りになる」「公平に扱われる」「共感、理解、優しさを持つこと」が上位の回答として挙げられました。



歴史的に十分な支援を受けられなかったコミュニティの人々はまた、「自分と似たような外見、話し方、または同じ人生経験を持つ医療提供者にアクセスできれば」と答える可能性が高い傾向がありました。

私たちの世界規模の世論調査は、対処すべきトラスト・ギャップを明らかにしただけでなく、それを埋める方法についての洞察も提供しました。



⁸ グラフは、信頼を損なう経験を報告した、疎外されたコミュニティ (n=5,675) と疎外されていないコミュニティ (n=1,435) の個人からの回答を示しています。

⁹ グラフは、信頼を損なう経験をした疎外されたコミュニティの個人からの回答を示しています (n=8,598)。



「歴史的に十分な支援を受けられなかったコミュニティの人々の大半が、医療制度への信頼を失っていることを示す証拠が、驚くほど多く存在します。人々の生活の向上に尽力するグローバルヘルスケア企業として、私たちはこうした格差の是正において重要な役割を担っています。だからこそ私たちは、健康状態の改善と、すべての人にとってより公平で健康的な世界の実現に向けて着実に前進していくために、長期的な投資を行い、信頼の架け橋を再構築していくことを目指しています。」

ポール・ハドソン サノフィCEO

a *million* conversations

「A Million Conversations」は、歴史的に支援が十分に受けられなかったコミュニティの人々の間で医療への信頼を再構築するためのサノフィの世界的な取り組みです。

8年間で5,000万ユーロを投資してスタートした私たちの目標は、世界中の人々と協力し、2030年までにトラスト・ギャップを大幅に埋めることです。

この取り組みは、次の3つの核となる柱を中心に構成されています。



教育:
トラスト・ギャップを埋めることに重点を置いた次世代のヘルスケアリーダーを支援するために教育機関と連携します



対話:
多様なコミュニティがヘルスケア業界と直接話し合い、信頼を築くための解決策を見つけるためのフォーラムを構築します。



影響:
パートナー組織やコミュニティと協力して経験を理解し、ヘルスケアの不平等を減らすための行動計画を共同で構築します。

これらはすべて、信頼構築において意義ある変化をもたらすための私たちの貢献を表しています。以下は、これまでの進捗状況と、パートナーと共に得た学びの概要です。



アレクサンドル・デランビュール(フランス) 安原理恵(日本)

スコット・エリス(米国)



アレネル・ビスポ



ガブリエラ・モ
ア・オフェラル



チャイマとクリスタル・
ワン・ヤング・ワールド・
ベルファスト



金子菜由



チャイマ・ハマニ



イフェオマ・
エネケベ

医療における 多様性の向上

公民権運動家のマリアン・ライト・エデルマンの有名な言葉があります。
“もし見えないなら、それにはなれない。”

多様性は重要です。ヘルスケアバリューチェーン全体にわたって多様なロールモデルが存在することは、よりインクルーシブで公平なヘルスケアへの道を切り開くのに役立ちます。例えば、黒人患者は黒人医師による治療を受けた場合、より良い健康状態が得られることが研究で示されています。しかし、米国の医師のうち黒人はわずか5%です。¹⁰

私たちは、教育は特権であってはならないと考えています。社会的または経済的背景に関係なく、誰もが成功するために必要な資格を取得する機会を持つべきです。教育へ

の経済的障壁は、社会で最も支援を受けていない人々に影響を与えることが多く、不信感や不可欠なサービスにおける多様性の欠如をさらに深める可能性があります。学習への公平なアクセスを提供することは、ヘルスケアの多様化、ひいては社会全体の患者との信頼関係を築くための基本的な方法です。つまり、社会の豊かさと多様性をよりよく反映するヘルスケアは、すべての人にとってより良いもののなのです。

¹⁰ Onyejiaka, T., および Bohl, M., 2020 年。「黒人医師による治療を受けた黒人患者の転帰が改善する理由」

サノフィ次世代 奨学金

私たちは、主要な高等教育機関と提携し、サノフィ次世代奨学金を通じて学生を支援しています。内容は以下のとおりです。

- トラスト・ギャップを埋めることに専念する学生に、経済的支援、メンターシップ、リーダーシップトレーニング、インターンシップの機会を提供します。
- 徹底的にインクルーシブであり、すべての人に開かれています。
- よりインクルーシブなヘルスケアの構築に取り組む若手リーダーの世界規模のネットワークに奨学生が参加します。

こうした取り組みにより、信頼関係が構築され、すべての患者が自分の意見を聞いてもらえ、尊重され、理解されていると感じられるようになります。

未来のヘルスケアリーダー

最初の2年間で、14のアカデミックパートナーとともに200人の学生を受け入れました。

私たちの奨学生が変化の声となることに尽力していることは、私たち全員、そして彼らと話すすべての人にとって刺激となります。

彼らは将来のヘルスケアのリーダーであり、私たちは彼らを、One Young World 2023やAFS Youth Assembly 2024

などの世界的なイベントで健康の公平性を訴えるよう招待しました。

彼らは、世界における公平なヘルスケアの希望です。

ブラジル：私たちは、社会経済的な課題を抱える学生や、少数民族・過小評価されている性別グループの学生を支援し、よりインクルーシブで公平な学習環境の促進に尽力するズンビ・ドス・パルマレス大学と提携しています



「インクルーシブな医療環境を推進することで、私たちは協働を促し、知識の交換を豊かにします。多様な視点は複雑な課題の解決に貢献し、平等でより効果的かつ思いやりのあるケアを強化します。」

ダニエル・マテウス・アルカンジョ、サノフィ次世代奨学生、ブラジル

フランス：生物工学学校 SupBiotech、ENSTBB - ボルドー INP (ボルドー国立技術高等専門学校)、およびビジネススクール ESSEC (経済経済商業高等専門学校) と連携しています。私たちは社会経済的課題や障がいを抱える学生を力を合わせてサポートしています。



「サノフィ次世代奨学生になることは、医療における変化を体現することを意味します。信頼を回復するまたとない機会です。」

コラリン・ギヤール、サノフィ次世代奨学生、フランス

日本：ヘルスケア領域における女性の活躍を促進するため、東京大学やその他の著名な大学から奨学生を迎えました



「私の専門分野は直接ヘルスケアに関連していません。私は異なる視点からヘルスケアに新たな知見をもたらしたいのです。」

和田万里奈、サノフィ次世代奨学生、日本

英国：私たちは、インペリアル・カレッジ・ロンドンと協力し過小評価されているコミュニティや社会経済的な課題を抱える学生の受け入れを推進しています。



「父が脳腫瘍から回復するまでの道りは物語っています。より思いやりのあるヘルスケアを形成するためには、誰もが見てもらえている、聞いてもらえている、理解されていると感じられる、多様性が重要であるということ。」

サイモン・ウォン、サノフィ次世代奨学生、英国



インクルーシブな対話

写真: 英国糖尿病会議、TIE サノフィ次世代奨学生、ダイアログ イベント、HBA との提携によるジェンダー+ ERG イベント、スペイン KREAB イベント。

32

社外での対話と支援活動

33

社内での対話

12k

参加人数

トラスト・ギャップを埋めるには、他の人たちにもこの旅に参加してもらわなければなりません。

そのため、私たちは10カ国で65の対話イベントや会議を主催・参加し、数千人もの多様な人々や医療リーダーとの対話を促進してきました。1万2000人以上の人々がこうした対話に参加し、自らの経験やコミットメントを共有することで、前向きな変化を促しています。

ヘルスケア領域の人々と歴史的に支援が十分に受けられなかったコミュニティとの間のオープンな対話を促進することは、差別の歴史によって損なわれた信頼を再構築するための重要な戦略です。地域の支援団体と連携することで、私たちは対話の機会をつくっています。そこは歴史的に支援が十分に受けられなかったコミュニティの人々が自らの経験を直接業界の代表者に伝える場です。

耳を傾けてもらうという行為は、信頼構築の基盤となります。自分たちの懸念が認識されるだけでなく、積極的に対応されていると実感すると、ヘルスケアシステムとの関係に大きな変化が生まれます。

ヘルスケアリーダーは、差別的な慣行や軽視的な態度に関する直接の証言を聞くことで政策や手順の具体的な変更につながる重要なインサイトを得ることができます。この迅速な対応こそが鍵です。対話を単なる雑談から、具体的な改善のきっかけへと変えるのです。コミュニティの人々が、自分たちの意見が医療慣行の改革、文化に配慮したケア、あるいはアクセスの向上に繋がるのを目の当たりにすることで、参加する価値が高まり、ヘルスケアシステムへの信頼が徐々に再構築されるのです。

懸念を表明し、それに応じた変化を目の当たりにし、ケアの改善を経験するというこの反復的なプロセスは、時間の経過とともに信頼を強める正のフィードバックループを生み出します。信頼が深まるにつれて、歴史的に十分な支援を受けられなかったコミュニティのヘルスケアサービスへの参加意欲が高まり、最終的にはより良い健康アウトカムとより公平な医療環境が促進されることが分かっています。



「実際には、訓練を受けていない医師や、必ずしも理解していない医師、そしてたとえ善意を持っていても、患者がトランスジェンダーであるという事実を受け入れようとしない医師がいるという状況に、私たちは本当に困惑しています。」

ナイス・ペラン・プレヴェル、フランスで開催されたLGBTQ+ インクルーシブ・ダイアログにて



「医学の学位を持つ黒人女性である私自身でさえ、妊娠関連の合併症で死亡する確率は白人の同僚の5倍です。これが正しいことだといえるでしょうか？」

ウチェ・ブラックストック博士、米国でのサノフィTIEサミットにて



システムの変化に 影響を与える

ヘルスケアにおける体系的な変革を推進するには、継続的な対話、つまり問いかけ、耳を傾け、行動することが不可欠です。そして真の変革を実現するには、この分野に利害関係を持つすべての人々からの意見が必要です。

私たちは、すべての答えを持っているわけではないことを認識しています。ヘルスケアの未来を共に形作るために、多様な視点と意見が必要です。

私たちの取り組みの一環として、政府、企業、学術機関、活動家、非営利団体からなる連合を構築し、調査の実施、活動の調整、そして意思決定者への働きかけを行っています。この連合への最初の貢献は、A Million Conversations アドバイザリーグループです。

A Million Conversations アドバイザリーグループ

アドバイザリーグループは、変化の推進に尽力する、医療、学術権利擁護、研究の分野における優れたリーダーたちの集団で構成されています。

健康政策パートナーシップによって招集されたアドバイザリーグループのメンバーは、変化を推進するために証拠に

基づいたそして合意に基づいた成果を生み出すことに尽力しています。

10 人の初代メンバーは、2 年間の任期でボランティアとして活動し、A Million Conversations の将来を共に形作るために貢献します。

ソリューションの共同実装

今年、私たちが医療政策パートナーシップと共同で作成した国際報告書「信頼の獲得：公平なヘルスケアのための基盤」では、地域で共同実施すれば信頼できるヘルスケアシステムの構築に役立つ、証拠に基づく政策措置の概要が示されています。

これは世界的な取り組みですが、トラスト・ギャップを解消するための解決策には、地方、地域、そして国家レベルでの行動が必要です。地域医療に関する意思決定を行う人々は、信頼というレンズを通して課題を捉え、これらのギャップがどこに存在するかを理解し、地方自治体や国家政府による的を絞った介入を確実に実施する必要があります。

このように複数のレベルで連携することで、意思決定をどこで行うのが最善かという検討を促すことができます。個人や地域社会の具体的なニーズを満たすために地域で行

うのか、それとも規模の経済を実現するために国全体で行うのか。また、誰が関与すべきか、そして信頼構築に不可欠な意思決定における説明責任と透明性をどのように確保するかについても指針が得られます。

変化は一度の努力で起こるものではありません。変化を起こすには、大きなレバーを引くだけでなく、より小さな地域活動を繰り返し、より大きな地球規模のインパクトへとつなげていく必要があります。後述の「A Million Conversations」のケーススタディで概説されているように、私たちはこうした地域活動において、心強い進歩を目の当たりにしています。

時間はかかりますが、このような地域的な取り組みを総合的に行うことで、トラスト・ギャップを埋めることができます。



真の信頼を獲得しインクルージョンを促進するには、言葉だけでなく、行動と説明責任が必要です。このイニシアチブは変化の触媒となり、対話を基盤として革新的で影響力のある行動を生み出します。「A Million Conversations アドバイザリーグループ」の他のメンバーと協力できることを楽しみにしています。

マリサ・ミラルド、インペリアル・カレッジ・ビジネススクール (ICBS) 健康経済学教授、学術ディレクター



セミナリオス・フォー
ーリャ イベント ブラジル

ケーススタディ

ケーススタディ： ブラジルにおける臨床試験の多様性の向上



多様性は重要です。臨床試験においては、参加者が人口構成を正確に反映していることが極めて重要です。これにより、得られる結果が、長期的に試験から利益を得る可能性のあるすべての人々を代表するものとなり、有害な副作用やその他の合併症の発生リスクを最小限に抑えることができます。この問題に対処するため、サノフィは臨床試験における多様性の向上に取り組んでいます。

例えば、ブラジルでは、2017年から2022年にかけて行われた私たちの調査で、臨床試験に参加した黒人または褐色人種は人口比率56%に対しわずか12%でした。

サノフィ・ブラジルは、臨床試験の多様性を25%まで高めることに取り組んでいます。同社は、革新的な治療法へのアクセス機会の拡大、治験実施施設のスタッフ能力の増強、投資の拡大、そしてより公平なヘルスケアアクセスの促進を通じて、この目標を実現しています。

サノフィは目標達成を支援するため、医療従事者向けのト

レーニングセッションとビデオを開発し、臨床試験における人口統計データの収集と分類方法に関する理解を深めています。また、黒人人口が50%を超える都市の臨床施設向けに、専門家向けの学習プログラムも作成しました。

サノフィは、ブラジル北部の州において、臨床医の数が不足している、または経験が浅い5つの拠点を特定しました。そしてこれらの若手医療従事者を支援するためにオンライン学習クラスを開催し、その後、専門の臨床現場で4日間の集中研修を実施しています。また、これらの拠点のスタッフは、コンサルタントによる訪問を受け、サービスの向上と充実に努めています。

さらに、サノフィは、臨床現場での写真やストーリーテリング、講義、ロールプレイを通じて、多様性の重要性に対する意識向上に取り組んでいます。参加した600人の医療従事者のうち、95%以上がこのプログラムを推奨しました。

¹¹ 臨床試験に関するサノフィ社内データ。

¹² ブラジル地理統計院 (IBGE) 2022年国勢調査：人口の一般的特徴

ケーススタディ： 日本で製薬会社がLGBTQ+のインクルーシブな ヘルスケアに向けて協力



Pharma for Prideは日本で製薬会社4社(サノフィ株式会社、アストラゼネカ株式会社、アッヴィ合同会社、アレクシオンファーマ合同会社)によって設立されました。職場環境と治療現場の両方においてLGBTQ+の人々の医療分野における心理的安全性の向上を支援することを4社が協力して目指しています。

2022年に設立されたPharma for Prideは、参加企業4社が医療従事者と定期的な勉強会を開催し、LGBTQ+コミュニティに影響を与える主要な問題に対する理解を深めています。

ディスカッション、ケーススタディ、ロールプレイを通じて、各社の従業員はLGBTQ+の人々がヘルスケアで直面している課題や、こうした問題がコミュニティの信頼の欠如や医療アウトカムの低下にどのように影響するかについて意見を交換します。

勉強会は、カミングアウト、アウティング、思い込み、医療従事者がLGBTQ+の人々のアライとしてどのように行動できるかをより深く理解し、業界全体でサポートとインクルージ

ョンの文化を醸成することを目的としています。

Pharma for Prideは設立以来、従業員向けの合同学習会を5回開催してきました。直近では2024年6月に、アライシップをテーマに開催しアライ参加者は650人に達しました。

Pharma for Prideは企業の垣根を越えて意識を高めることにも努めています。6月のプライド月間や毎年12月の人権週間に合わせて合同学習会を開催するほか、関連団体やアライネットワークと共同でLGBTQ+イベントへの参加・開催を行い、日本の製薬業界全体に前向きな変化をもたらしています。

日本での「A Million Conversations」の立ち上げと、関連するLGBTQ+団体との密な連携に加え、サノフィはPharma for Prideによる日本政府への働きかけについても支援してきました。今Pharma for PrideはヘルスケアにおけるLGBTQ+の人々のさらなる平等とインクルージョンを求め、要望書を日本政府に提出することを目指しています。

写真: レインボープライドイベント、日本

ケーススタディ： 米国の地域医療従事者の連携



コミュニティ・ヘルス・ワーカー (CHW) は、米国および世界中で、歴史的に支援が十分に受けられなかったコミュニティの人々の福祉を確保するうえで重要な役割を果たしています。CHWの専門知識、健康への影響、そして投資収益率は数十年にわたって十分に文書化されてきましたが、近隣住民が情報、支援、そしてケアにアクセスできるよう支援しているこれらのコミュニティのリーダーは、十分な支援を受けられず、多くの場合無報酬です。

パンデミックが始まったとき、世界の専門家たちはCHWが不可欠であることをすぐに認識し、深く信頼され非常に有能なコミュニティリーダーを確実に見つけ支援するための世界的タスクフォースを結成しました。全国地域医療従事者協会 (NACHW) はこの世界的グループに参加し、サノフィと長期的な戦略的パートナーシップを築き、全国的なCHWの統合に役立つデジタルインフラを初めて構築する取り組みを支援しました。

- NACHWはサノフィの支援により、調査や部門横断的なワークグループの促進、専門家の助言を通じて、さまざまな部門のCHWおよび専門家と広範に関与し対話をもちました。
- さらに、サノフィのリーダーと従業員 200 名が関係者とともに「All In for Community Health Workers (CHWのための総力戦)」に取り組みました。ここは、CHW 中心のデザイン思考ワークシ

ョップが実施され、デジタル プラットフォームの設計に関するユーザーの洞察が得られました。

- 2024 年 8 月、広範なフィードバックを受けて、CHWコネクター デジタル アプリがリリースされ、最初の 6 週間以内に 1,000 人を超える CHW がサインインして、地域医療のベスト プラクティスを共有し、研究、サポート、ベスト プラクティス、トレーニング、および政策提唱サポートにアクセスしました。

CHWコネクターによる支援に加え、サノフィは地方、州、連邦で選出された議員とともに、NACHWの政策提言を支援しています。さらに連邦議会議事堂での75人のCHWの研究や、第2回全国CHW啓発週間の補強、自己負担なしでメディケアとメディケイドによるCHWサービスを受けられることを求めた、3月に導入されたCHWアクセス法の推進も支援しました。

今後、サノフィとNACHWは共通の地域医療の公平性に関する共通の優先事項を特定し、サノフィは業界内で協力して、医療従事者不足、プライマリケア医 (PCP) 不足、および複雑な米国の医療制度の状況下ですべての関係者に利益をもたらす可能性のあるCHWの持続可能な資金調達シナリオを特集することを目指し、2025年に実用的なレポートを発表する予定です。

写真: サノフィとコミュニティ・ヘルス・ワーカーズ (NACHW)、ワシントン D.C.



どうすればトラスト・ギャップを埋められるのか

では、ヘルスケアへの信頼をどのように再構築すればよいのでしょうか？私たちの調査によると、属性や特徴に関わらず、人々は自分と似た医療提供者を信頼します。

共感、質の高いサービス、そして明確なコミュニケーションは不可欠です。歴史的に十分な支援を受けられなかったコミュニティの人々は、こうした基本的な期待さえもしばしば奪われています。私たちは的を絞った公平な介入を必要としています。これまでの対話、調査、そして政策研究に基づき、現在および将来の協力者に対し、以下の推奨行動に重点的に取り組むよう呼びかけています。

私たちは、ヘルスケア領域の意思決定者やパートナー団体と協力し、これらの推奨事項の実施について協議していきます。皆様の組織が協力していただける場合は、ぜひご参加ください。

推奨されるアクション



教育を通じて力を与える

すべての医療従事者に対し、文化的配慮と積極的傾聴に関する定期的な研修を導入しましょう。これらの必須スキルを継続的な教育に組み込み、ヘルスケアにおける無意識の偏見に対処することで、あらゆるコミュニティに貢献できる人材を育成し、患者と医療従事者の信頼を再構築することができます。



研究における多様性の推進

健康研究において、地域および国の人口の多様性を反映することを義務付けます。これには、歴史的に十分な支援を受けられなかったコミュニティの健康アウトカムに関する標準化された透明性のあるデータ収集の義務付け、研究における包括性に関する国家基準の設定が含まれます。これらの措置を通じて、健康格差へのより適切な対応につながる知見を明らかにします。



意思決定にコミュニティを含める

「私たち抜きで私たちのことは語らない」という原則に基づき、多様なグループの人々を、彼らに影響する医療政策の決定に参画させましょう。病院の理事会にコミュニティの代表者を派遣するなど、支援が不足しているコミュニティを積極的に関与させることで、彼らのニーズと実体験が考慮されるようになります。これは、よりインクルーシブで対応力のあるヘルスケアシステムを育むことにつながります。



包括的で個人中心のケアを優先する

医療従事者が、患者一人ひとりと有意義な関係を築くための十分なリソースと時間を提供することで、患者中心のインクルーシブなケアを提供できるようにします。誰もが異なる障壁に直面しているため、医療従事者が患者の状況と希望を十分に理解するための十分な時間を確保することで、個々のニーズに応えるカスタマイズされたケアを提供することができます。



一貫したアクセスしやすいコミュニケーションを促進する

利用しやすい教材を活用して、社会全体の健康リテラシーを高めましょう。医療従事者と製薬会社は、患者が健康関連のトピックについて明確かつアクセスしやすい情報を確実に得られるようにする責任があります。政府はまた、公衆衛生に関するメッセージにおいて透明性のある情報を提供し、信頼できる情報提供者を活用して誤情報に対抗すべきです。そうすることで、個人が十分な情報に基づいた選択を行い、医療従事者と懸念事項について率直に話し合うことができるようになります。



すべての人のための医療従事者を育成する

あらゆる人々が、その経歴に関わらず、ヘルスケア分野でキャリアをスタートしやすくします。あらゆるコミュニティの人々が労働力に包摂されることで、より効果的なコミュニケーションとより良い健康アウトカムを促進できます。



ユネスコとAPFフランスとのパートナーシップによる障がいと女性の健康に関するイベント

参加してください

すべての人々に公平な医療アウトカムを提供したいのであれば、歴史的に十分な支援を受けられなかったコミュニティのヘルスケアに対する信頼を再構築することは不可欠です。誰もが、恐れや偏見なく、健康を享受する権利を持っています。

私たちは、歴史的に十分な支援を受けられなかったコミュニティとの信頼関係を再構築するため、「A Million Conversations」イニシアチブを開始しました。まずは、率直でオープンな対話から始めました。これらの対話を通して、信頼を損なうようなネガティブな経験をした人々に関する驚くべき事実が浮き彫りになりました。

耳にする声が増えるにつれ、私たちの決意は深まりました。ただ自分が何者であるかというだけで、病気や死のリスクが高まるべきではありません。これは決して許されることはありません。私たちは力を合わせ、この状況を改善するためにできる限りのことをする責任があります。だからこそ、皆さんにもぜひご参加いただきたいのです。

信頼を得るには、まず人々をヘルスケアに関する議論の中心に据え、あらゆる接点において、人と人との交流、表現、共感、そしてインクルージョンを向上させる方法を模索することから始まります。

- 私たちは教育に投資し、経歴に関わらず、すべての人々がヘルスケア分野でキャリアをスタートしやすくする必要があります。

- 私たちは議論を促進し、ヘルスケアに対する信頼についての人々の認識に耳を傾ける必要があります。
- ヘルスケアに利害関係を持つすべての人々を巻き込む必要があります。変化をもたらすことができる人々、つまり、現在そして将来、ヘルスケア領域で働くすべての人々、つまり機関や意思決定者から政策立案者まで、あらゆる人々を巻き込む必要があります。

もしあなたが当てはまるなら、この報告書はあなたへの招待状です。世界の保健当局、業界パートナー、活動家、地域団体などからの意見や支援を得て、私たちは信頼の進展を追跡し、変化を促すことができます。共に。

ヘルスケアへの信頼を再構築するのは容易なことではありません。しかし、皆様のご協力があれば、よりインクルーシブで、すべての人にとってより健康的な世界に向けて共に歩んでいくことができます。



「歴史的に十分な支援を受けられなかったコミュニティの中には、医療への信頼が危うい状況にあるところがあります。もし信頼が揺らげば、不平等が深まり、公衆衛生が危険にさらされる恐れがあります。この報告書は、インクルーシブ・ヘルスケアに投資するすべての人々にとって、行動を促すものとなるはずで、なぜなら、私たちは共に信頼を築き、より良いケア、より緊密な連携、そしてより強靱なヘルスケアシステムをすべての人々のために確保できるからです。」

ローラ・グティエレス、グローバル コーポレート パブリックアフェアーズ ヘッド、サノフィ

お問い合わせください

「A Million Conversations」は、広範囲に及ぶパートナーシップです。しかし、真の変化をもたらすためには、組織やチェンジメーカーとの連携をさらに強化していく必要があります。

あなたやあなたの組織がA Million Conversations Coalitionへの参加にご興味をお持ちでしたら、ぜひご参加ください。

amillionconversations@Sanofi.com



謝辞

この報告書はこの取り組みに貢献した世界中のサノフィ チームの驚くべき貢献なしには存在しなかったでしょう。彼らは当初から私たちが共に歩んできた進歩において重要な役割を果たしてきました。

また、この報告書の作成にご協力いただいた Brand and Reputation Collective のパートナー、特に Purpose Union に感謝いたします。

この報告書の内容には、サノフィが資金提供したレポート『信頼の獲得：公平なヘルスケアのための基盤』で医療政策パートナーシップが実施した取り組みと、アドバイザリー グループ メンバーの貴重な貢献も反映されています。

最後に、支援が不足しているすべての方々に感謝と連帯の意を表します。皆様の率直さと誠実さがなければ、私たちがこれまで成し遂げてきた進歩、そしてこれからも目指していく進歩はあり得ないでしょう。

ご協力いただいた団体の皆様に感謝申し上げます。

American Red Cross, APF France handicap, Boston Children's, Boston Health Care for the Homeless Program, Children's Health Fund, Community Servings, The Dimock Center, The Family Van, Fenway Health, Folha de São Paulo, Fundação Tide Setubal, Family Promise, GenUnity, Hospital Israelita Albert Einstein, Imperial College London, The National Council of Negro Women (NCNW), New Jersey Health Care Quality Institute, Nohs Somos, Pocono Pride, Pocono Services for Families and Children (PSFC), The Salvation Army, ESSEC Business School, ENSTBB - Bordeaux INP, RWJBarnabas Health, Rutgers University Ernest Mario School of Pharmacy, St. Luke's University Health Network, St. Mary's Center for Women and Children, SupBiotech, Thurgood Marshall College Fund, Transcendemos, Trenton Health Team, The University of Tokyo, Universidade Zumbi dos Palmares, UNESCO, United Way, Urban League of Philadelphia, The YMCA and more.

共に信頼を
再構築しましょう

sanofi

a *million*
conversations